

地方創生政策と 義務教育の子育て支援について

権田 昌弘 議員

質問 国の地方創生政策を受けて、館林市として今後どのような考えで取り組んでいくのか、お伺いします。

答 本市におきましては、地方創生に先行して、既に今年度から母子保健コーディネート事業を他に先駆けて実施して少子化対策に取り組んでいるところです。

質問 義務教育期間に親子で生活していただくことは

また、平成27年度予算案におきましても、まち・ひと・しごとと同じ趣旨であります

す定住人口の確保、少子化対策、経済の活性化という3つの柱から予算編成を進め、本定例会に上程したところです。

義務教育期間に親子で生活していただくことは

道路の管理と整備について

井野口勝則 議員

質問 市内、大谷町にある市道7084号線についてお尋ねします。全長約340メートル、幅約7・7メートルあるこの道路は、公

答 この路線は道路の通行機能が失われている状態で現在に至っております。

ご指摘を深く受けとめ、地元区長を初め、関係者の皆様と早急に協議をし、市道である旨の周知を図り、円滑な道路管理を行います。

とわからないほど、現況は民有地化されております。今後の対策はどのように考えているのか、お尋ねします。

質問 新厚生病院が完成し、



館林厚生病院新病棟

新病棟で診察も始まりましたが、病院北側の市道では、道路幅が車両一台分のスペースしか無く、歩行者や自転車の方々は非常に不便を

とても重要であると思いますが、その期間における家計の出費は制服をはじめ多額に至ります。そこで、今の制服制度の始まりや使用目的について、また、本市では、なぜ週に1度しか制服を着用しないのか、なぜ中学校ごとにスタイルや金額が違うのか、お伺いします。

答 今の制服制度は明治後半から昭和前期にかけて始まったと言われ、使用目的はアイデンティティーや帰属心及び仲間意識を培う上で意義があり、儀式や各種行事の際の公式着としての意味と学校を特定する機能があると考えております。本市の現状としては、部活動の朝練習等の理由により、5校中4校は月曜日のみ制服登校となっており、週に1度は普段の日以上に身を引き締める意味合いがあると思います。また、制服は、学校設立時に各校長の判断で制定するため、スタイルや金額が違って

質問 制服リサイクル活動を多々良中学校以外の学区でも取り組んでいただきたいのですが、いかがでしょうか。また、制服の統一化やスタイルの見直し、制服の必要性の検討を行う考えについて、お伺いします。

ります。

けていきたいと思

来しております。そこで、厚生病院周辺の市道の整備計画についてお尋ねします。

答 厚生病院周辺については、重要拠点の市道整備として、優先度は高いと認識しています。

今後は、病院北側の市道も含めて、市として積極的に周辺道路整備を進めます。

成島駅周辺の市道整備

質問 成島駅の東側踏切から南へ約270メートルの区間までの市道拡幅の整備計画についてお尋ねします。

要望 この計画の予算を誤らないよう要望いたします。

答 幅員6メートルの道路計画で、平成24年より事業を行っており、平成30年の完成を目指しています。

この道路は、通勤や通学に多くの市民に利用されている生活道路であります。

地権者の皆様や地元歴代区長、関係各位のご尽力により、長年の整備計画が具現化に向けて大きく動き出しましたが、その内容と進捗状況についてお尋ねします。